



▲講師 昇地 三郎先生

「100歳時代を生きぬく力」

世界一元気な106歳「児」が 実践する十大習慣健康法

106歳を過ぎても「今なお現役」で活躍される昇地三郎先生の、「すまいるフェスタ」での講演が決定しました。入場無料です。心と身体の健康に関する講演ですので、お誘い合わせの上、奮ってご聴講ください。

第12回 すまいるフェスタ in たかもり

いきいき健康長寿講演会 入場無料

日時 平成24年11月3日(土) 午後1時半から

場所 高森中学校体育館 講師 昇地 三郎 先生

紹介 明治39年8月16日北海道釧路生まれ。広島高等師範学校、広島文理科大学を卒業後、九州大学医学部にて精神医学を学ぶ。

昭和29年「しいのみ学園」を創立。現在も社会福祉法人「しいのみ学園」理事長兼園長。106歳でなお現役の教育学者であり、健康の秘訣は自ら創り出した「習慣健康法」。

趣味は講演。日本国内はもちろん、世界一周講演旅行として99歳から102歳まで4年連続で各国を歴訪。ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/shiinomi100/>

主催 熊本県後期高齢者医療広域連合

高森町健康づくり推進協議会・高森町文化協会・高森町人権同和教育推進協議会

高森町・高森町教育委員会

阿蘇世界文化遺産リレーコラム ～わがまち自慢の世界遺産～

熊本県と阿蘇郡市7市町村で構成される阿蘇世界文化遺産登録推進協議会では、みなさんの暮らしている「阿蘇」を世界文化遺産として登録するために、さまざまな取り組みをおこなっています。そんな世界遺産候補「阿蘇」の見どころを、阿蘇に暮らすみなさんに広く知っていただくこと、各市町村の担当者がリレー形式で紹介していきます。

コラム第1回 阿蘇はなぜ世界文化遺産をめざしているの？

担当：熊本県

みなさんの暮らしている「阿蘇」は、活発な火山活動の結果、形成された広大なカルデラとその周辺に約7万人の暮らしが営まれている、世界にも類を見ない地域です。古来から、火山に畏敬の念を表す信仰や阿蘇開発にまつわる神話・農耕祭事が伝えられてきました。また、人々の長年にわたる野焼き・放牧・採草によって維持されてきた二次的な生態系である広大な草原が残されています。

自然と人々の力で維持されてきた阿蘇の草原や、そこに営まれた阿蘇独自の文化は、「自然と人間の共同作品」であり、まさに「人類共通のたからもの」です。その反面、適切に保存しなければやがて消滅を免れないかけがえない存在でもあります。だからこそ、世界的な保護の視点に立ち、私達の手で守っていくために、世界文化遺産としての登録を目指しています。



◆第2回以降は、そんな「阿蘇」のどんなところが世界文化遺産としての価値があるのか、各市町村の「わがまち自慢の世界遺産」についてご紹介していきます！